

宍粟市の台所事情と わかりやすい今年の仕事

令和4年度予算説明



はじめに

令和4年度は、一体的に策定した「第2次宍粟市総合計画後期基本計画」と「第2次宍粟市地域創生総合戦略」が始動する年となり、計画における各施策の取組を具現化していき、基本理念である「人と自然が輝き みんなで創る 夢のまち」の実現をめざしてまいります。

「^{もり}森林から^{はじ}まる地域創生」をまちづくりのテーマに、本市の財産である自然を生かした体験型観光の創造、基幹産業である林業や農業の振興、若い世代の定着を図る子育て支援や教育環境の充実、市民の健康を守る地域医療の確保など、「住み続けたい、住んでみたいまち」、「安心して子どもを産み育てられ、いつまでも元気に過ごせるまち」をめざし、これまでの取組を一層深化させた取組を進めてまいります。また、行政のみでは立ち行かない課題を、市民や団体等をはじめとするあらゆる人たちと一緒に、参画と協働による活力に満ちた持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

宍粟市長

福元晶三

令和4年度 予算の概要

1. 一般会計の予算規模

令和4年度当初予算 234億7,000万円

〈 対前年度当初予算比 +0.2億円 +0.1% 〉

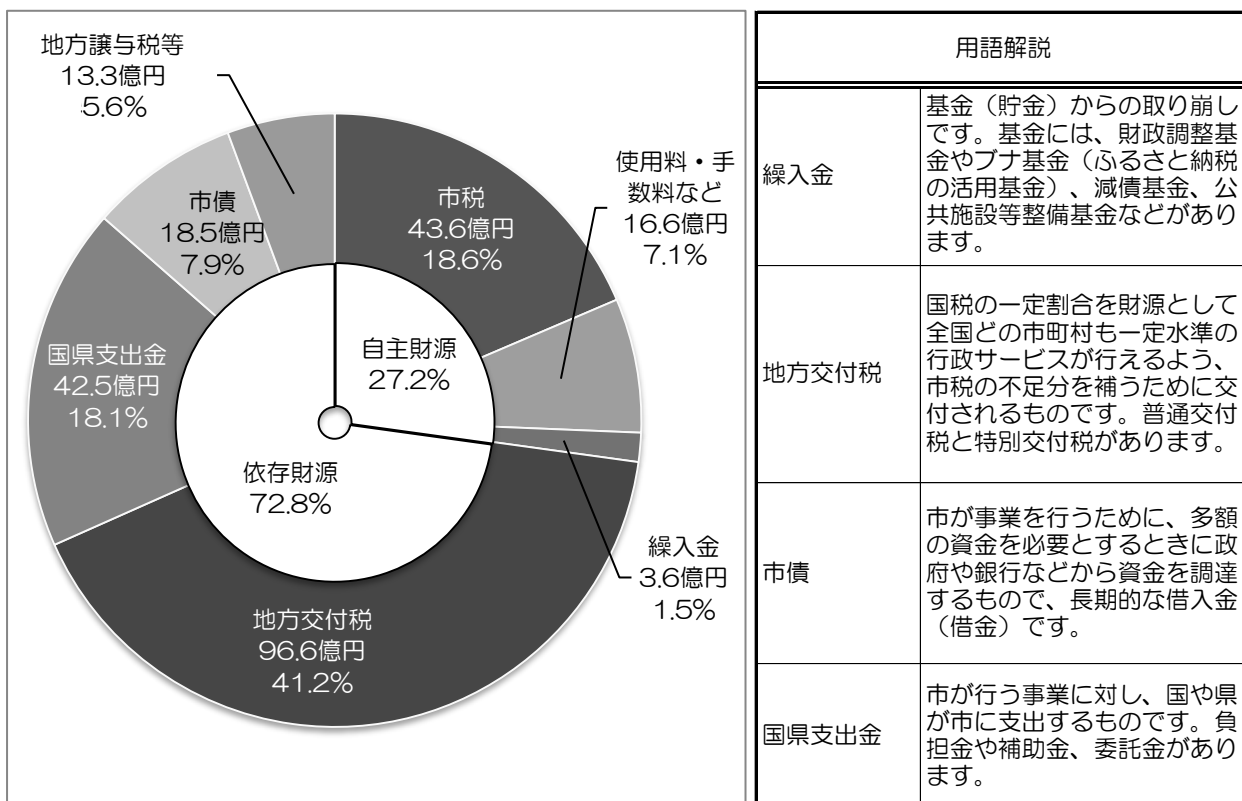
令和4年度栗市全会計予算

(単位：千円、%)

区 分	R4年度 予算額 A	R3年度 予算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100	
一般会計	23,470,000	23,450,000	20,000	0.1	
特別会計	国民健康保険事業	4,657,225	4,694,370	△ 37,145	△ 0.8
	国民健康保険診療所	221,922	221,389	533	0.2
	後期高齢者医療事業	580,120	575,461	4,659	0.8
	介護保険事業	5,029,937	5,041,180	△ 11,243	△ 0.2
	訪問看護事業	76,696	66,880	9,816	14.7
	小計	10,565,900	10,599,280	△ 33,380	△ 0.3
企業会計	水道事業	2,251,613	2,167,482	84,131	3.9
	下水道事業	3,773,120	3,695,177	77,943	2.1
	病院事業	4,769,993	4,677,945	92,048	2.0
	小計	10,794,726	10,540,604	254,122	2.4
合 計	44,830,626	44,589,884	240,742	0.5	

※企業会計の額は収益的支出+資本的支出の合計額

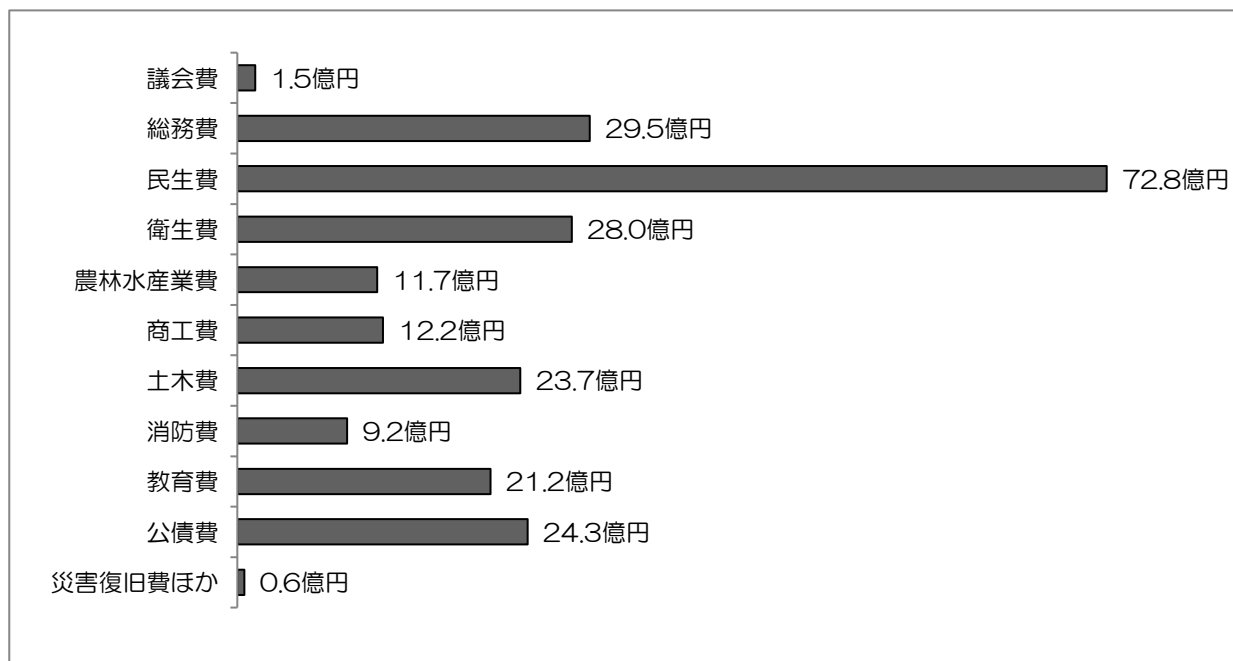
2. 一般会計歳入予算



用語解説	
繰入金	基金（貯金）からの取り崩しです。基金には、財政調整基金やフナ基金（ふるさと納税の活用基金）、減債基金、公共施設等整備基金などがあります。
地方交付税	国税の一定割合を財源として全国どの市町村も一定水準の行政サービスが行えるよう、市税の不足分を補うために交付されるものです。普通交付税と特別交付税があります。
市債	市が事業を行うために、多額の資金を必要とするときに政府や銀行などから資金を調達するもので、長期的な借入金（借金）です。
国県支出金	市が行う事業に対し、国や県が市に支出するものです。負担金や補助金、委託金があります。

3. 一般会計歳出予算

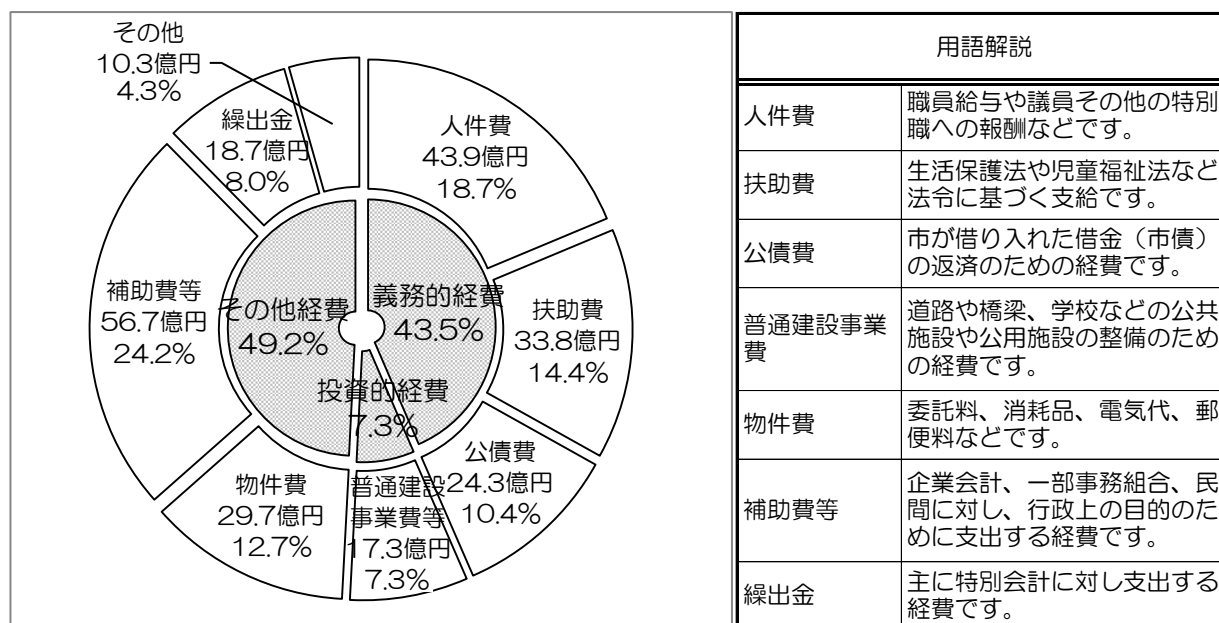
【目的別】(法令で定める予算の科目別区分)



主な歳出（目的別）の状況

- ・ 市民1人当たりの支出額は約65万円です。
- ・ 民生費が一番多く、予算の約30%を占めています。

【性質別】(財政体質を分析するため、国の統計等で用いる区分)



主な歳出（性質別）の状況

- ・ 投資的経費の市民1人当たりの額は、約5万円です。
- ・ その他経費のうち、補助費等には地方バス対策など各種補助金、上下水道や病院などへの支出が含まれます。

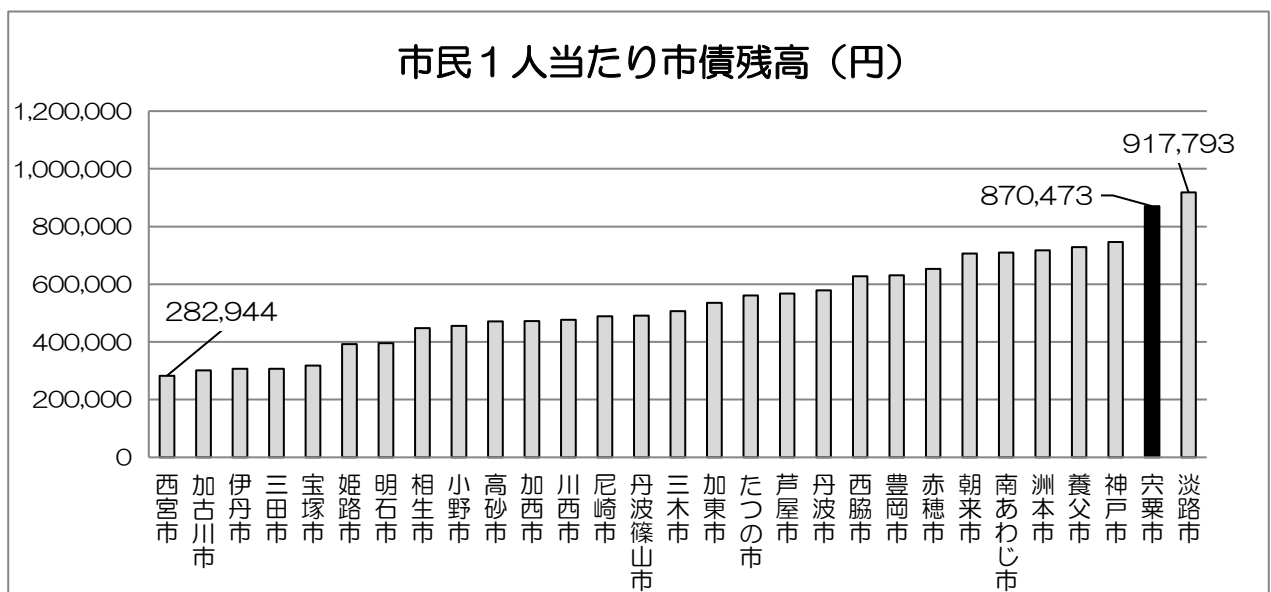
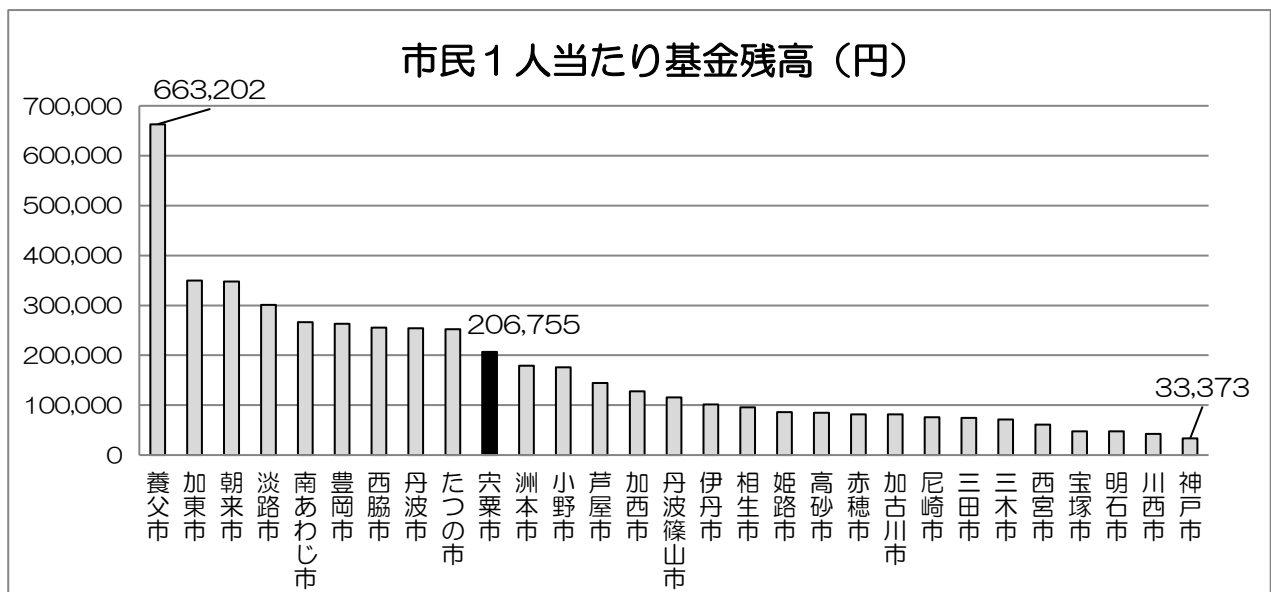
★市民1人当たりの「貯金」と「借金」の残高（令和2年度決算）

- ・基金（貯金）残高は206,755円/人
- ・市債（借金）残高は870,473円/人

※基金残高、市債残高は普通会計ベース、1人当たりの数値はR2国勢調査人口で算出

基金は、災害などの急な財政需要や収入減に備えたり、ある特定の目的のために積み立てたりしておく貯金です。

市債は、建設事業を実施する場合に一度に多額の資金が必要になるため借り入れる借金のことで、現世代と将来世代で経費を平等に負担するという考え方も含んでいます。また、市債（借金）は、国がその返済費用の一部を普通交付税として配分してくれる有利なものを選んで発行しています。



★ 人件費と職員数の推移

人件費 ～ 43億8,763万円 (一般会計：令和4年度予算)
 (令和3年度予算：44億6,323万円) ～

市長、副市長、教育長、職員、会計年度(フルタイム)任用職員の給与のほか、議員、会計年度(パートタイム)任用職員、農業委員会委員、教育委員会委員、消防団員等の報酬を含んだ人件費です。
 人件費については、選挙事務や幼稚園職員人件費の減などにより前年度から7,560万円減少する見込みです。

◎新規採用職員の初任給(一般職)(令和4年4月現在)

高校	15万4,900円	大学	18万2,200円
----	-----------	----	-----------

◎職員1人あたりの平均給与月額(一般会計：一般職分)(令和4年1月現在)

職員の平均年齢 42歳8か月
 平均給料月額 31万3,606円
 平均給与月額(※) 37万3,568円
 ※給与とは、給料に扶養手当、時間外勤務手当などの手当を加えて算出したものです。

◎特別職等の給料等

主な特別職等の給料・議員報酬は、次のとおりです。

市長	88万円	議長	44万8,000円
副市長	71万2,000円	副議長	37万円
教育長	63万8,000円	議員	34万6,000円

◎これまでの職員数と人件費の状況

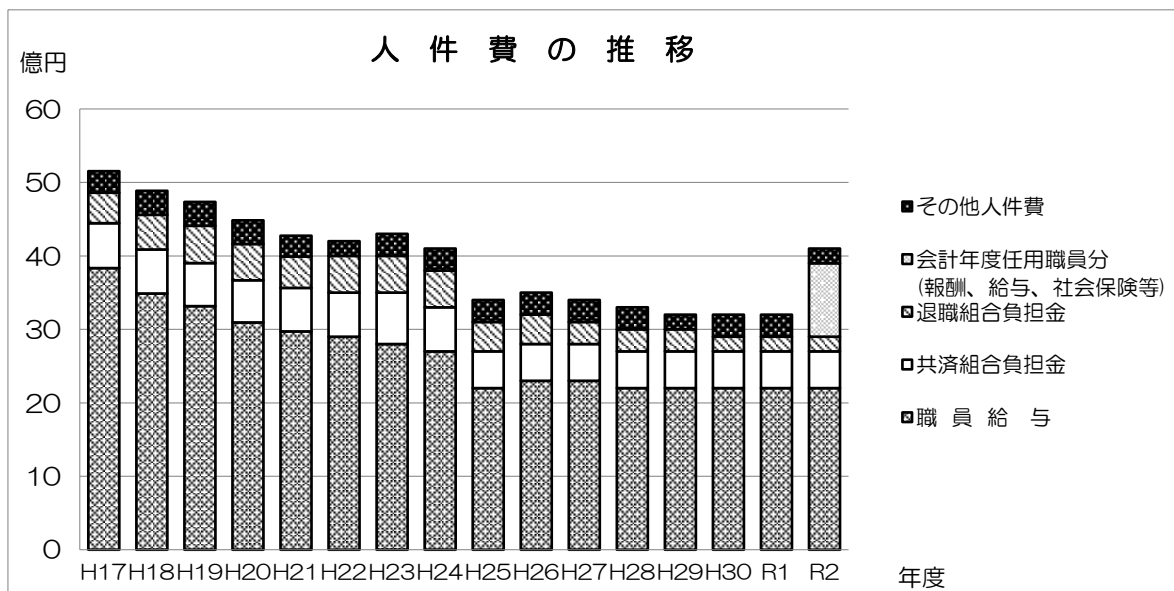
① 職員数の推移(令和4年4月1日現在、公営企業、任期付職員を含む)

(単位：人)

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
職員数	787	751	718	696	696	680	663	663	658	662	660	664	664	670	671	674	673

② 人件費の推移(決算統計資料より)

令和2年度の人件費総額は41億7,174万円で、前年度比9億5,722万円増です。
 ※令和2年度から会計年度任用職員制度が開始されました。



令和4年度主要施策(事業)一覧

令和4年度における新規事業や市の抱える諸課題を重点的かつ計画的に解決するための主要な事業を紹介します。

■第2次宍粟市総合計後期基本計画及び第2次宍粟市地域創生総合戦略に基づく事業

① 魅力と活力あふれる地域産業を育むまちづくり

森林整備推進事業 1億7,650万円 公益的機能を十分発揮し得る健全な森林を育成するため適切な森林の整備を進める。	森林の恩恵と森林保全活動の啓発リーフレットの作成事業 100万円 豊かな森林の恩恵や森林保全の大切さと市の取組等について記載した啓発リーフレットを作成し、市内外の企業・個人に広く発信する。
山村活性化支援交付金事業 933万円 山村地域の特色を活かした生産取組を拡大し、主食用水稻、黒大豆、小豆、山椒の4品目のブランド化による地域経済活性化を図る。	多面的機能支払交付金事業 9,433万円 協定に基づく農地・農業用水路等、農業資源の保全管理活動に加え、農地周辺の水路・農道等の補修・更新などの活動に対し支援する。
農業機械導入事業 300万円 農業の継続や就農に意欲のある農業者に対し、スマート農業機械等の導入を支援し推進することにより、作業効率や生産性を向上し持続可能な力強い農業の実現を図る。	就職・就労活動支援事業 2,199万円 無料職業紹介所（宍粟わくわく〜くステーション）を運営し、市内企業における新規求人の開拓、求職者への就職相談、地域就活情報ポータルサイトの管理を行う。また、市内企業の魅力発信、ビジネスマッチングフェアなどを推進する。
発酵のまち推進事業 97万円 宍粟市が「日本酒発祥の地・発酵のふるさと」のまちであることを市内外に広くPRするとともに、交流人口の増加や発酵文化の普及啓発、市民の健康増進を図る。	観光駐車場整備事業 9,224万円 山崎市民局跡地を観光駐車場として整備し、観光客等の受け入れ体制を整えることで観光振興と地域活性化を図る。
楓香荘跡地整備事業 1億8,500万円 原不動滝並びに周辺の景勝地を訪れる観光客や、地域住民の憩いの空間として、喫茶・軽食を提供する機能を備えた施設整備に向けて、楓香荘を解体する。	営業部設置事業 945万円 民間ノウハウと民間人材を活用した営業活動により、森林セラピーなどの地域資源をからめた企業研修等の誘致による関係人口の増加を図る。

② 環境にやさしく快適に暮らせるまちづくり

ちくさ高原彩の森林整備事業 630万円 ちくさ高原エリアの森林への広葉樹の植栽や既存の作業道を活用したマウンテンバイクコースを整備することにより、年間を通して四季折々の景観が楽しめるアクティブハイランドを形成する。	庁舎LED化事業 7,068万円 更新時期を迎えている照明器具等（本庁・北庁舎）をLED照明に更新し、電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減につなげる。
最上山公園等整備事業 1,758万円 最上山公園内のトイレや遊歩道などを整備するとともに、もみじ山における広葉樹の計画的な植栽等を行う。	地籍調査事業 1億9,387万円 国土調査法に基づき、登記所（法務局）の公図及び登記簿を基に調査し、一筆ごとの地籍（所有者、地番、地目、地積及び境界）を明確にする。

道路新設改良事業 2億1,272万円

主要な交通手段が自動車である穴粟市において、より快適で利便性の高い道路の新設及び改良を行う。

橋梁長寿命化事業 1億8,620万円

今後老朽化する橋梁数の増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の修繕を行う。

雨水幹線整備事業 4,000万円

山崎町山田～千本屋における雨水の適切な排水（雨水幹線の整備）により、当該区域の内水氾濫を防止する。

山崎インター高架下のリニューアル事業 950万円

山崎インターの高架下通路において、利用者が安心して通行できる明るくやさしい空間を創出する。

③ 定住魅力の高いまちづくり

波賀生活圏の拠点づくり事業 1,635万円

波賀市民局周辺を波賀町域の生活圏の拠点として位置づけ、点在している公共施設の集約化・複合化や、市民が集う拠点を整備することで新たな賑わいを創出する。

地域生活交通対策事業 1億4,663万円

通勤や通学、買い物など、市民生活に必要不可欠なバス路線を維持するため、バス運行事業者が要する運行経費の一部を市が補助する。

移住・定住支援事業 5,058万円

穴粟市への移住・定住をサポートするため、空き家バンクの運営をはじめとする市内空き家情報の発信や相談体制の充実、若者や子育て世代の住宅取得を促進するための補助制度や通勤通学費助成などを行う。

結婚新生活支援補助事業 600万円

経済的な理由により結婚に踏み切れない若者に対し、新居の購入費やリフォーム代、家賃や引越費用など結婚後の住居に要する費用の一部を補助する。

④ 安全で安心なまちづくり

地域防災力の向上 171万円

自主防災マップづくり講習会の開催や、新たにインターネットを利用したリモート型の防災プログラムを取り入れた総合防災訓練を行う。

農業水路等長寿命化・防災減災事業 3,002万円

農業生産活動の基盤となる農業水利施設がその機能を安定的に発揮していくため、適宜、効率的な長寿命化対策や防災減災対策を実施する。

消防団出会い応援事業 75万円

消防団員の減少を防ぎ、地域の消防体制を維持するため、独身の消防団員を対象とした出会い応援を実施することで、消防団員の地元定着及び団員の確保を行う。

交通安全施設事業 2,325万円

通学路を重点的に区画線の更新、防護柵、看板設置などの交通安全対策を行う。

消費者市民社会の形成に向けた啓発事業 40万円

消費者市民社会の形成に向けて、世代ごとに関心の高いテーマを取り入れた啓発事業を開催する。

⑤ 子どもが健やかに育つまちづくり

病児・病後児保育事業 1,627万円

保護者の子育てと就労等の両立を支援するため、児童が病気または怪我をしているが、保護者が仕事を休めないようなときに、一時的にその児童を預かり保育する。

(仮称) 蔦沢小学校統合校舎等改修事業 2億5,720万円

教育環境の充実を図ることを目的とした学校規模適正化の推進により、地域における協議のもと、伊水小学校及び都多小学校を閉じ、(仮称) 蔦沢小学校として新規開校するため、建築当初より相当年数が経過して老朽化が著しい伊水小学校校舎等を改修する。

学校給食運営事業 1億5,346万円

市内の小学生、中学生等を対象に地域で生産された食材を使用した学校給食を提供するとともに、これまで教職員が関わってきた給食費徴収業務を市が行う(公会計による給食運営を行う)。

幼保一元化推進事業 4億7,848万円

子どもの育ちに必要な集団の確保と多様な子育てニーズに対応できる幼児教育・保育環境の確保のため、認定こども園を整備する。

小中一貫教育総合推進事業 302万円

「宍粟市小中一貫教育の推進及び整備方針」に基づき、令和4年4月からは千種小学校・中学校において、小中一貫教育を推進する。

⑥ 保健・医療・福祉が連携した安心のまちづくり

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 49万円

生涯を通じた健康の保持増進のため、高齢者の保健事業を国民健康保険の保健事業及び介護予防と一体的に実施する。

新病院建設及び周辺整備事業 2億2,018万円

将来における医療体制の確保と充実を図るため、建設から38年が経過する宍粟総合病院について、新病院として宍粟市の医療を担う病院設備の整備を行うとともに、新病院への進入路の整備を行う。

千種保健福祉センター空調設備改修事業 1億170万円

千種保健福祉センターにおける子育て世代の親子から高齢者まで幅広い来庁者に対し、感染対策機能を有する空調設備に更新することで快適な環境を提供できる。

障害者(児)通所支援事業 1,204万円

障がいのある人(児童)の日中活動や療育訓練のための通所に要する経済的負担の軽減と利用促進支援を行う。

国民健康保険被保険者証と高齢受給者証の一体化及びフリガナ併記 243万円

被保険者証と70歳以上の被保険者に交付している高齢受給者証の一体化、被保険者証へのフリガナ併記を行う。

新型コロナウイルスワクチン接種事業 1億249万円

新型コロナウイルス感染症の感染予防や重症化予防のため、ワクチンを2回接種した人に3回目の接種、また、ワクチン未接種者に1回目・2回目の接種を進める。

ひきこもり対策推進事業 596万円

保健師等専門職による個別相談の実施や支援者・市民向けの講演会の開催のほか、ひきこもりの当事者及び家族の支援を図るため、ひきこもり支援に関する窓口や情報発信、居場所の提供等を行うサポートセンターを設置する。

介護人材確保対策事業 595万円

介護人材不足の状況を解消するため、求人者と求職者の双方に対し支援を行うプラットフォーム(宍粟市総合的な仕事の相談窓口)の運営、介護支援専門員実務研修受講試験対策講座の開催、介護人材の奨学金等返還金支援などを行う。

障害者理解啓発推進事業 111万円

障がいのある人や障がい特性に関して市民の理解を深めるとともに、障がいのある人ない人が日常的に交流し、コミュニケーションを図る。

⑦ 心豊かにいきいきと学べるまちづくり

生涯学習オンライン入門講座等事業 42万円

第2期社会教育振興計画の初年度は新たな学びの視点をふまえた新規事業（オンライン入門講座、リカレント講座）を開始する。

文化財保護事業 1,845万円

文化財の指定・保護、文化財施設の維持管理、歴史資料館の管理運営、埋蔵文化財調査、文化財保存活用地域計画策定等を行う。

生涯スポーツ活動の推進 320万円

スポーツ推進計画を策定し、計画の理念や今後のスポーツ施策の方向性を各種団体や市民と共有しながら、ラジオ体操やウォーキングなどの取組を一層進める。

人権教育推進事業 238万円

「差別のない明るく住みよい穴栗市」実現のため、人権が尊重される社会づくりに向け「人権ふれあい学習事業」などをはじめとする人権啓発事業を推進する。

◇参画と協働・男女共同参画の推進

協働のまちづくりの推進 1,694万円

地区を活動範囲とする広域的な課題の解決に取り組む組織の育成をめざし、地区コミュニティ支援員設置など継続して行うとともに、大学との共同により、協働のまちづくり組織の創出に向け調査研究を行う。

御形の里づくり事業 6,027万円

一宮北部まちづくり委員会と連携し、一宮北部地域の活性化、地域づくり及び観光の拠点として、家原遺跡公園・まほろばの湯を中心に一体的な整備を行う。

男女共同参画社会づくり推進事業 275万円

啓発講演会やリーダーセミナーを実施するほか、個人や団体が自ら実施又は参加する研修等の経費を支援することにより、男女共同参画社会について意識の醸成を図る。

小中学校における生理の貧困対策事業 420万円

生理の貧困対策やジェンダー平等の観点から、市内の小中学校のトイレに生理用品のストックボックスを設置し、必要な時に生理用品を無償で使用できる環境を整える。

職員意識改革・能力向上研修事業 98万円

職員が性別や年齢に関わらず能力を最大限に発揮することができるよう職員の意識改革を行う講演会を実施するとともに、若手職員を対象にしたプロジェクト研修を実施する。

◇健全な行財政運営の推進

行政手続オンライン化事業 3,459万円

「特に国民の利便性向上に資する手続」として示される「子育て」と「介護」などに関する27業務について、オンライン手続が可能となるよう関連情報システムの改修を行う。

職員研修事業 278万円

階層毎に必要とされる能力を系統的に身に付け、職員の資質向上を図るとともに、職員の意識改革を進め組織力の向上を図る。

ふるさと納税推進事業 3億9,316万円

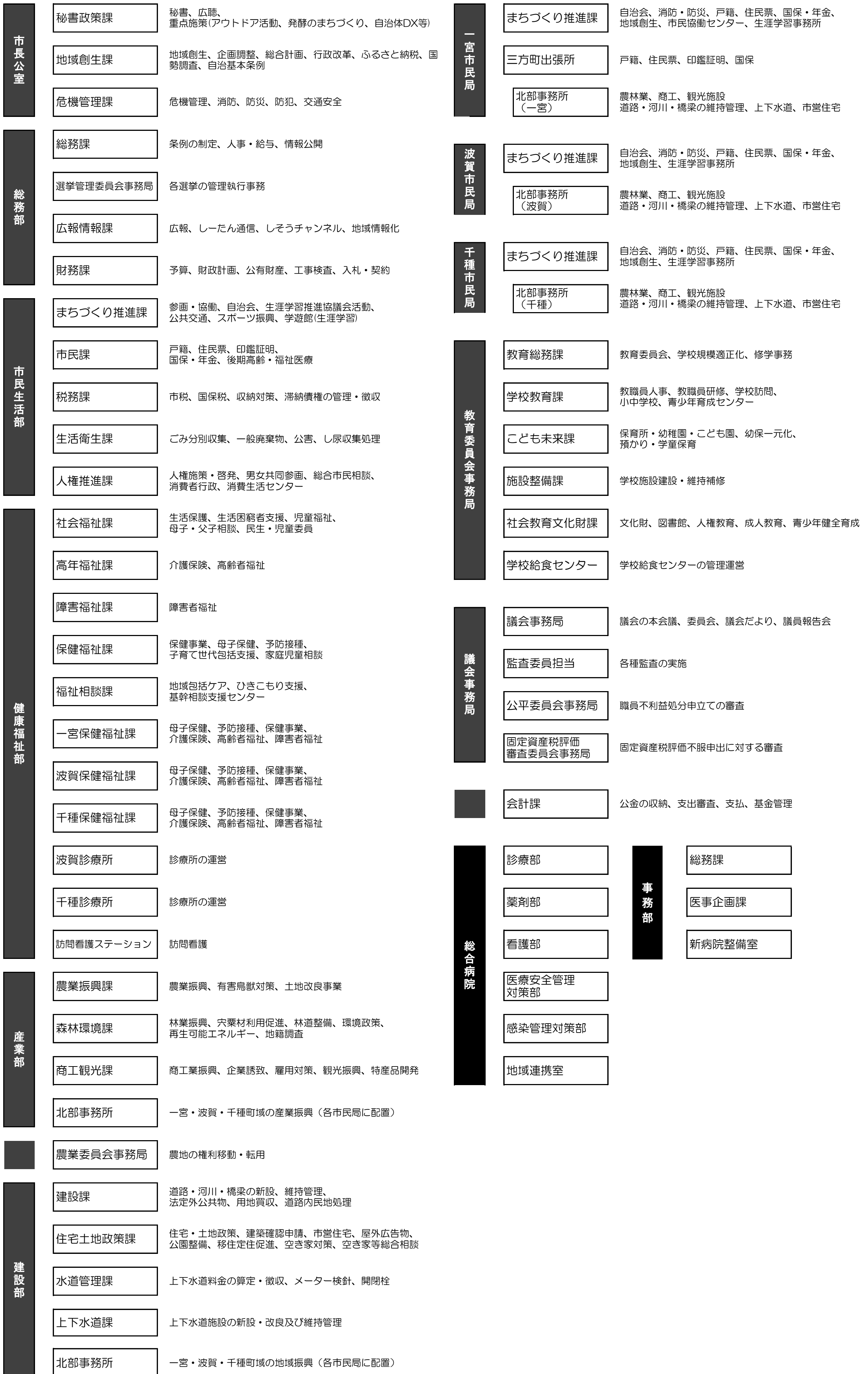
ポータルサイトやパンフレットなどを活用し、個人及び企業からの地方税法に基づく寄付金を募り、各種施策の財源として活用する。

滞納徴収事業 905万円

財産調査を徹底し徴収強化を図るとともに、市町間併任協定継続による捜索強化及び徴収研修への積極的参加により職員のスキルアップを図る。

令和4年度 宍粟市役所組織図(配置図)

《本庁》〒671-2593 宍粟市山崎町中広瀬133番地6 TEL 0790-63-3000(代) E-メール info@city.shiso.lg.jp



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



宍粟市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。